

## 簡単なアニメーション作品を作る

佐藤裕介

5年生の図工で、パラパラまんがのような作品を作る学習がある。

教科書には、牛乳パックの下半分に窓を作り、上から連続して描かれている絵を落としていくという工作が紹介されている。

子どもたちと一緒に私も作ってみた。絵を連続して落としていくという仕組みは理解できるのだが、いざやってみるとうまく絵が動かない。なんだこんなものかという感じで、期待が大きかっただけに残念だった。

教科書には、工作以外にコンピュータを使った作品も紹介されている。しかし、具体的にどうやって作るのかまでは紹介されていない。

### 1 ハイパーキューブねっと Jr.でアニメーションを作る

学校のコンピュータ室にあったソフトでは、ハイパーキューブねっと Jr.でアニメーションを作ることができた。「お絵かき」で絵を何枚か描き、それを「電子紙しばい」に読み込んで再生するだけである。手順は簡単だが、何枚も連続した絵を描くのはなかなか難しいものである。「お絵かき」のレイヤー機能を使って、1ページ前の絵の上に少しずつ絵を描くようにするとうまく描ける。

私の学級では1時間の中で、多い子でも4枚しか描けず、少ない子は1枚で終わってしまった。

ソフトの操作法を説明するときに、私は実際に作って見せた。人が腰を振って踊るアニメである。絵は2枚しか使わない。連続再生することで踊って見えるのである。それを手早く作って見せる(5分以内)ことで、子どもを「できそうだ」「やってみたい」という気持ちにすることをねらった。ねらいは当たったが、子どもたちの意欲は尻すぼみに萎えていった。凝った絵を描こうとした子は時間が足りず、完成できないまま終わってしまった。絵はできるだけ簡単にして、とにかく絵を動かしてみることに重点をおくのがよい。

### 2 フリーソフトを使ってアニメーションを作る

以前勤務した学校で、コンピュータ準備室でほこりをかぶっていたPC9801を教室に持ち込み、「ぱたぱたアニメつくる」というソフトでアニメーションを作らせたことがある。3・4年生であったが、十分使いこなせたとし、楽しめたソフトであった。

Windowsでも似たようなソフトはないものか(ただしフリーソフトで)と探していたところ、最近ベクターで [MONOmatation Studio FS](#) というソフトを見つけた。「ぱたぱたアニメつくる」とほぼ同じで、子どもにも見えそうである。モノクロで、色は使えないのだが、そのほうが単純で使いやすいし覚えやすいのである。

### 3 粘土アニメ

新聞で、粘土とデジタルカメラを使ってアニメーションを作るという記事を読んだ。具体的にどうやってつくるのかまで書いてなかったが、おもしろそうなのでやってみたいと思う。